

「京都府」が社会貢献大賞に 2018年度助成事業では、 23の事業に対し5440万円を

■第13回社会貢献大賞表彰式

全日遊連を母体とする「全日本社会貢献団体機構」(杉浦正健会長、阿部恭久理事長)は7月19日、東京港区の第一ホテル東京で「第13回社会貢献大賞表彰式」並びに「2018年度助成金贈呈式」を開催した。

社会貢献大賞は、全日遊連傘下組合(都府県方面、支部組合、組合員ホール)が実施した1年間の社会貢献事業の中から、社会貢献度の高い事業を行った団体、企業を顕彰するもの。本年度は29都府県方面遊協から81件の申請があ



社会貢献大賞に輝いた京都府遊協。30年間に亘る財団法人による社会福祉活動が高く評価された



都府県部門：最優秀賞は大阪府遊技業協同組合の「大遊協 Presents 熊本地震復興応援」事業

った(都府県方面23件、支部組合18件、組合員ホール40件)。

同機構では3月23日、4月12日に審議を行い(杉浦正健委員長、脇田直枝委員長代行)決定した。

社会貢献大賞に選出されたのは、京都府遊技業協同組合の「公益財団法人京遊連社会福祉基金創立30周年記念」事業。30年間で369の福祉団体、81の自治体に総額8億5370万円の寄付や助成を行ってきた実績が、高い評価を集めた。



支部組合部門：最優秀賞は東京都の八王子組合・高尾組合・南大沢組合合同の「青少年育成支援」事業

社会貢献賞の「都府県方面部門」では最優秀賞は大阪府遊技業協同組合、優秀賞は埼玉県遊技業協同組合・千葉県遊技業協同組合・兵庫県遊技業協同組合が選ばれた。「支部組合部門」の

最優秀賞は、都遊協の八王子組合・高尾組合・南大沢組合、優秀賞は岐阜県東濃遊技場組合、長崎県島原半島遊技場組合が選ばれ「組合員ホール部門」では最優秀賞はミリオンインターナショナル(東京)、優秀賞はマルキ(山形)、サンティア(長野)、イクティス(福岡)



組合員ホール部門：最優秀賞はミリオンインターナショナル(東京都)の社会貢献活動

が選ばれた。また、今回より「最終審査ノミネート賞」が新設され、15の都府県遊協や支部組合、組合員ホールが表彰された。

2018年度の助成事業では、一般助成「子どもの健全育成支援」が16件、3千万円、「災害復興コミュニティ支援」が6件、1440万円、「特命助成」としてRSNへ1千万円の計23件、5440万円を助成している。



共同助成として12団体へ助成認定証が贈られた。写真は青森県の一般社団法人復興ねぶた協議会



特命助成は、前年度に続きRSN(リカバリーサポート・ネットワーク)へ1千万円を助成した